

建交労 ひかい

2022年2月号

発行：建交労 No.215

岐阜農林建設連合支部

〒501-4234

郡上市八幡町五町1-4-15

電話 0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす

会社の社会的責任はどこへ？ 神岡じん肺第3陣訴訟 初弁論開かれる！



1月24日(月)、岐阜地方裁判所(鳥居俊一裁判長)301号法廷で3陣訴訟の第1回弁論が開かれた。コロナ感染拡大で原告団の出廷はかきませんでしたが、岐阜県本部をはじめ国民救済会など支援する仲間が駆け付けてくれました。

弁論前に、裁判所正面玄関前で横断幕を広げ宣伝行動を行いました。

弁論では、岡本浩明弁護士事務局長が意見陳述を行いました。「被告の安全配慮義務違反は繰り返し断罪されてきた。一争う姿勢を見せる被告の態度は決して許されないと強く批判しました。」

裁判所からこれからの予定を聞かれ、被告側弁護士は、「(坑内)の安全配慮義務違反について争うと返答。臆面もなく、なお争う姿勢を明らかにしました。」

1陣で敗訴が確定しているにもかかわらず、全面的な和解決はおろか、原告らに謝罪もしない三井金属鉱業。こんな会社が許されるわけがありません。

第3陣の闘いがいよいよ始まりました。全面勝利和解に向けて全力で奮闘します。

河合良房先生を偲んで

河合良房先生、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共に、先生との思い出を書かせていただき追悼とさせていただきます。

先生に初めてお会いしましたのは、神岡じん肺訴訟の提訴に向けて準備をしていた2009年のことです。岐阜農林建設連合支部では、全国トンネルじん肺根絶訴訟でも弁護団長を受けていただいておりますので、



在りし日の河合先生のお姿

神岡じん肺訴訟の弁護団長もぜひ引き受けていただきたいと願いました。誠実なすがすがしい風が感じられるような方だと思ったことを今でも覚えています。そのころ、原告団長という大役を仰せつかったものの、裁判も初めて、弁護士にお会いするのも初めてで戸惑うことばかりでした。どうしようか、とうろたえる私に先生は「水本さん、裁判で大事なものは、裁判所の中だけではなく、運動です。裁判と運動は車の両輪のようなもの。そこがうまく一緒に走って初めて勝利できるのです。弁護団も頑張りますが、それだけでは勝てませんよ。水本さん、多くの人に神岡のじん肺被

害を訴えていきましよう」と笑顔で話されました。その言葉に励まされこの13年間、街頭署名や本社要請、「なくせじん肺キャラバン」での労働局・県要請など様々な運動を行ってきました。傍にはいつも先生の姿がありました。

昨年9月、名古屋高裁で第2陣訴訟は画期的な勝利判決を勝ち取ることができました。その時、先生の姿を拝見しなかつたと参加した家族会の人に聞き、どうされたのかと心配になりました。(コロナ感染拡大でじん肺患者である私たちは出席できませんでした。)

このことで、なお一層心配になりました。

10月に第3陣を岐阜地裁に提訴したときです。河合先生も来て下さいました。

「名古屋高裁判決、行けなくてごめんね」と謝られたのですが、痩せてお辛そうで、こんなに体調が悪くても、弁護団長として駆け付けてくださったのだと胸が熱くなりました。この日にお会いしたのが最後となつてしまいました。

神岡じん肺訴訟の全面解決を先生と一生に喜びたかつたと残念でたまりません。先生の真摯なお姿をけつして忘れず、解決に向けて頑張つてまいります。

心からの敬意と哀悼の意を表します。

岐阜農林建設連合支部

合掌

執行委員長 水本明治

息苦しさを和らげよう

じん肺は肺機能が低下していきませんが、治療・管理を行えば肺機能の低下を緩やかにし、生活の質を保つことができます。

肺機能が低下していると新しい空気が入る場所が少なくなり、息を吸いにくくなります。そして息苦しくて息を十分吐ききらないうちに次の息を吸うため、肺はいつも必要以上に膨らんだ状態になり、自然と浅く早い呼吸になります。また、肺だけではなく肺の周りのさまざまな筋肉の力で、肺が膨らんだり縮んだりして呼吸しています。

息苦しさを少しでも軽減していくために運動機能の低下を食い止めることが大事です。呼吸機能を維持・増進するためにも散歩など適度に体を動かすことが大切です。

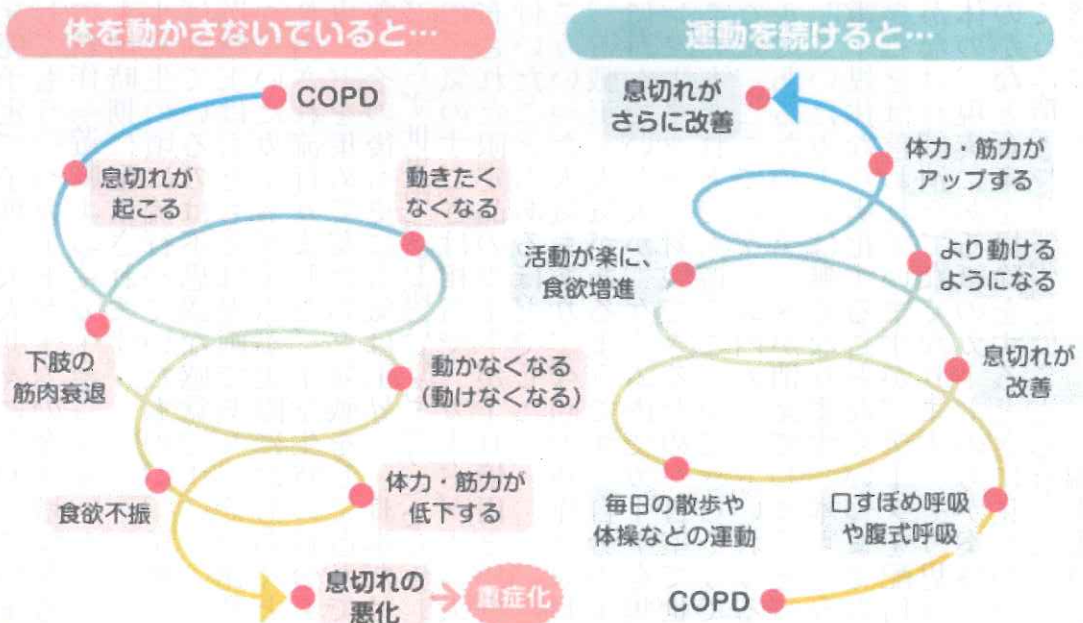
※COPDとは慢性閉塞性肺疾患で、じん肺もあてはまります

運動が大切なわけ

適度に運動することで悪化への悪循環を断ち切りましょう！

COPDでは、動くと息切れにより苦しくなるため、動きたくなくなってきます。しかし、あまり動かずに座ったまま、寝たままの生活が続くと、下肢などの筋肉が弱ってさらに動かないようになり、食欲も落ちて気分も減入り、生活の質が低下してきます。こうなると、どんどん体力が低下し、さらに息切れが悪化、動きたくても動けなくなるという悪循環に陥ってしまいます。

この悪循環に陥らないために、息切れがあっても動くのがおっくうであっても、重症化する前に可能な範囲で体を動かし、体力をつける必要があります。逆に運動を続けることで、息切れが楽になり、より動けるようになってきます。



2022年1月の活動報告

1/9	春闘共闘会議	リモート参加
1/12	難聴検査	@岡田耳鼻科
1/13	第3回執行委員会	@郡上市文化センター
1/16	県本部旗開き	@岐阜県教育会館
1/17	審査請求聞き取り 長田さん	@岐阜労働局
1/22	神岡じん肺訴訟 闘争本部会議	@郡上市文化センター
	県労連 わくわく講座	リモート参加
1/24	神岡じん肺訴訟 第3陣口頭弁論	@岐阜地方裁判所
1/31	療養の打ち合わせ	@長良医療センター

2022年2月の予定

2/1	トンネルじん肺根絶7陣訴訟 提訴	
2/4	新春のつどい	@東京
2/5	なくせじん肺キャラバン実行委員会	リモート
2/22	神岡じん肺訴訟 弁護団会議	リモート

～お悔やみ～

じん肺、肺がんで療養されておりました谷地あつ子さんが1月13日にお亡くなりになりました。心からご冥福をお祈りいたします。

編集後記

1月の終わりにテレビゲームのポケモンの新作が発売予定で子供、大人共々にぎわっています。そしてもう一つカードゲームの金字塔である遊戯王の新作『遊戯王 マスターデュエル』というゲームも同時期に配信されます。

小学生の頃に流行っていたものが、子供たちに遊ばれているのは不思議な感覚です。

遊戯王はもともとは漫画であり、その作品内で行っていたカードゲームが実際におもちゃとして売り出され流行りました。小学生時の自分も沢山のカードを集めて友たちと対戦をして遊んでいました。その後更に人気は上昇し、日本だけにはとどまらず世界中でも遊ばれるようになりました。

その人気のすごさは相当で、カードゲーム大会で配布された限定品のカードが10億円という価値が付いたこともあるほどでした。

こういういった人気もあり、今回の新作テレビゲーム、遊戯王も人気があるようです。自分のように昔に遊んでいた人が、ゲーム内でカードを集め、インターネットで対戦できるため、自宅で世界中どこでもだれとでも遊ぶことができるそうです。

ただ、ここでのゲーム内のカードいわゆるデジタルであるため、データが消えてしまうと当然所持していたカードは無くなります。本もそうです。電子媒体なら劣化することなくいつまでも保管できるとは言われていますが、データを配信する元がなければ消えてなくなります。そう思うと紙媒体の、現実にある紙のカードの方が案外長く残るのかなと倉庫を掃除をするときに見つかって、捨てるに捨てられなかったカードを見てみると深々と考えてしまいます。

編集委員 畑中